

要 望 書

苫小牧市長 岩 倉 博 文 様

我が国では、令和2年10月26日に菅総理大臣が2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。地方においても、脱炭素社会に向けて、2050年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことを表明する地方公共団体が増えつつあります。北海道随一の産業都市であり、かつ人間環境都市を宣言している苫小牧市においては、都市再生コンセプトプランにおいて「産業と環境の共生した持続可能な都市の実現」を掲げており、脱炭素社会の早期構築が求められています。ついては、苫小牧市におかれましては、脱炭素社会の実現に向けて、ゼロカーボンシティ宣言をし、加えて、地域脱炭素ロードマップにおける100か所の「脱炭素先行地域」の指定を目指すなど、積極的な取組のもと、下記の事項について施策を推進されるよう強く要望いたします。

記

- 1 脱炭素への取組を核とした地域産業の連携による産業振興
- 2 地域の脱炭素化へ向けた行政の積極的な関与・推進
- 3 CCUS・再生可能エネルギー等の脱炭素に資する企業の積極誘致や優遇制度の検討
- 4 ゼロカーボンエネルギーである水素・アンモニア等の利活用の検討
- 5 ゼロエミッション・データセンターの誘致による脱炭素化の促進

令和3年8月3日

苫小牧商工会議所

会頭 宮 本 知 治